



商 団 連

第359号

令和7年1月1日



発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区赤坂5-1-31

第6セイコービル4階

電話03-6807-4335

編集発行人 原田 芳憲

ご挨拶

令和7年
新春に当たって

全国卸商業団地
協同組合連合会

会長 福井 弘



明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルの中東紛争など、世界各地での地域紛争が続き、国際情勢が一層緊迫化し、世界経済に多大な影響を及ぼしました。また、アメリカではトランプ前大統領が再び政権の舵取りを握ることが決まり、今後政策に大きな変化が予想され、全世界に及ぼすその影響が懸念されています。

一方、日本国内に生じている急速な人口減少と高齢化は、労働力人口の減少を招き、日本の経済成長に深刻な影響を与えています。また、地方経済の疲弊が進み、大都市と地方に大きな格差が広がっていることも大きな問題となっています。

更に、急速に円安が進行し、これは輸出企業にとっては一定のメリットがある一方、国内の物価高につながっています。特にエネルギーや食品など生活必需品の価格上昇は、家計に直接的な影響を与えており、今後消費の落ち込みが懸念される状況となっています。

このような厳しい環境下にあっても、絶え間ない努力をされている会員組合及び組合員の皆様に深く敬意を表しますとともに、当連合会の事業推進につきまして、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年度から実施した「卸商業団地機能向上支援事業」は令和5年度で終了しましたが、中小企業庁及び中小企業基盤整備機構のご支援により、令和6年度から新たに「卸商業団地構造変化等対応支援事業」が実施できることになりました。当事業は、卸商業団地における組合施設の建て替え、新規立地への移転、共同事業の再構築、防災・減災機能の向上、GX・DXへの対応など、卸商業団地の機能強化と魅力向上のために行う事業の実施に関する調査研究や事業化調査、基本計画・詳細計画の策定等の費用の一部を助成するもので、多くの卸商業団地が活用されることを期待しております。

また、経済産業省から交付決定を受け実施している「課題解決環境整備事業」及び「事業環境変化対応型支援事業」につきましても多くの会員組合の皆様にご利用いただいています。

多くの卸団地は設立から約半世紀以上が経過し、施設の老朽化を始め団地の一体感の希薄化など様々な課題が顕在化しつつありますが、卸団地が地域経済の中核として、引き続き発展・繁栄していくためには、それらを解決し、人と情報の行き交う魅力があり、かつ、活力のある場所として、卸団地自らが活性化を図っていくことが重要となっています。

当連合会は、会員組合の皆様が抱える様々な課題の解決や組合組織の活性化を支援することが組織の役割でございます。本年も全国卸商業団地対策議員懇話会、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、商工中金、全国中小企業団体中央会及び住友生命等の関係機関のご支援の下、会員組合の皆様の発展のためにお役に立てるよう尽力してまいります。

本年が会員組合及び組合員の皆様にとりまして、更なる飛躍の年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年
年頭所感

中小企業庁

長官 山下 隆一



令和7年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震や9月の豪雨等により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。中小企業庁といたしましては、引き続き、被災された事業者の皆様へ寄り添いながら、生業の再建に全力を尽くしてまいります。

さて、日本経済は、足下において企業の賃上げが加速しつつあり、国内投資も30年ぶりの高い水準になるなど、「潮目の変化」ともいえるべき兆しが見られています。そのような中で、これからの日本経済が持続的な成長を果たすためには、まさに経済の骨格である中小企業・小規模事業者の皆様が主役となっていかなければなりません。

一方で、目下の中小企業・小規模事業者を取り巻く状況をみますと、物価高や人手不足といった数多くの課題に直面しています。

このような中でも、明るい兆しを全国に波及させ、好循環を継続するためには、日本の雇用の7割、付加価値の5割以上を占める中小企業・小規模事業者の皆様が活躍でき、物価高に負けない持続的な賃上げを実現できる環境を整えていくことが極めて重要です。

こうした認識のもと、中小企業庁としましては、中小企業・小規模事業者の賃上げ原資を確保するべく、「取引適正化の推進」「生産性向上支援」「成長投資支援」の3つを本年も強力に進めてまいります。

まず、中小企業庁は、公正取引委員会と連携し、本年も取引適正化の推進に全力で取り組



みます。日本経済が転換期を迎えているにもかかわらず、昔ながらの取引構造やデフレ思考は日本社会に根強く染み付いています。「成長と分配の好循環」を達成するため、価格転嫁対策を含む取引適正化をより一層強化し、下請法の改正や執行強化を実現してまいります。

また、構造的な人手不足の中で中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」を高めていくためには、省力化投資による生産性向上が肝要です。そのため、昨年に引き続き、カタログから選ぶような簡易で即効性のある省力化投資支援を継続します。

そして、売上高100億円を超える「100億企業」は、直接輸出額や域内仕入高が大きく、賃金も高いなど、国内投資や地域経済を牽引していくような存在です。この「100億企業」を目指すような経営者・企業について、成長の後押しを行っていくことは、変革の時代を迎えている日本経済の更なる発展に寄与するものと確信しており、100億企業の創出に向けた大胆な取組を進めてまいります。

一方で、持続的な成長・賃上げには事業継続の下支えも必要です。特に、経営者の高齢化が進む中、貴重な経営資源を次の世代に引き継ぐ事業承継や、M&Aによる事業拡大を進めることにより、これまでにないチャレンジを引き出し、生産性の向上や賃上げにもつながる環境整備を行います。

全国卸商業団地協同組合連合会の皆様は、永年にわたり地域の隅々への商品の安定供給、雇用の受け皿、地域社会のインフラ整備など、地域のまちづくりにも大きく貢献されてこられました。引き続き、地域経済の発展に貢献されることを期待しております。

また、本年は大阪・関西万博が開催されます。万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、世界中の来場者を出迎え、「未来社会の実験場」のコンセプトのもと、様々な最先端分野を発信・社会実装する機会となるものです。日本が世界の課題解決を主導して更なる発展の道筋を拓く契機として、その成功に向けて取り組んでまいります。

最後に、令和7年の干支である「巳年」は、一般に大きな変化や再生をもたらす年とされていますが、とりわけ本年「乙巳（きのと・み）」は、努力を重ねて変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年とされます。中小企業・小規模事業者の皆様がこれまでのヘビー（巳）な環境を乗り越え「脱皮」を遂げ、新たなチャレンジへと踏み出し、成長を実現できるような環境を整えるべく全力を尽くしてまいります。

本年が、皆様にとって実りある年となるよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年 年頭所感

独立行政法人
中小企業
基盤整備機構

理事長 宮川 正



新年、明けましておめでとうございます。令和7年の新たな年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

能登半島地震発生から1年が経過し、奥能登では豪雨災害も発生しました。改めて被災者の方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興のために尽力されている皆様方の努力とご尽力に対し深く敬意を表します。これまで日本では、地震や豪雨など、数多くの自然災害が発生してきましたが、中小機構は、被災地の皆様の復興・復旧に向け、出来得る限りのあらゆるご支援をさせて頂く所存です。

さて、昨年を振り返りますと、経済面では、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、活気を取り戻した地域・業種がある一方、人手不足や賃金・物価上昇などから、売上拡大しきれない地域・業種もあり、日本経済全体としてはまさに正念場にあるものと思います。

我が国の中小企業は、これまで長期にわたり「耐える経営」を余儀なくされてきました。しかし、日銀のゼロ金利政策の解除に見られるように、経済環境は変わりました。そうした中、今年、日本では『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマとする2025大阪・関西万博が開催されます。このテーマは中小企業が大きく成長するために必要な「攻めの経営」に通じていると考えます。

すなわち、経済状況が変化する今、「成長志向」が重要で、企業価値を高めるための設備投資等に果敢に挑戦する必要があります。また、攻めの経営とともに、地域社会への貢献や社員の働きやすさ、いわゆるウェルビーイングを重視し、働き方改革を推進する必要があります。

中小企業・小規模事業者には、人手不足、賃金・物価上昇に対する価格転嫁や事業承継などの諸課題がありますが、企業価値の向上、働き方改革、経営の自己変革を考える中で、解決方法を見出していくしかないと感じています。

中小機構はこうした成長志向の取組を進める中小企業の皆様に寄り添いながら、幅広い支援により力強くサポートします。

人手不足や事業の省力化・生産性向上を目的としたIT化・DX支援、地域経済活性化を



目的とした高度化事業、補助金運営を通じた金融支援によりイノベーションの推進を支援します。また、被害を受けた企業に対する復興支援のほか、事前に備える事業継続力強化計画（ジギョケイ）の策定支援、事業引継ぎサポート等を目的とした事業承継・引継ぎ支援の他、経営者と会社の将来に備えた共済事業により事業継続の推進を支援します。さらに、中小企業大学校での人材育成支援や、伴走型のハンズオン支援により経営力強化の推進を支援します。

全国卸商業団地協同組合連合会におかれましては、半世紀以上にわたり、全国の卸商業団地の魅力向上、一体性や機能の維持・向上に尽力されてきました。

中小機構といたしましても、例えば、人手不足解消のための倉庫管理の自動化設備の導入や、太陽光発電施設の導入など、リニューアルを進めるうえでご利用していただけるよう高度化事業の改善等に引き続き努めていく所存です。

今年一年が、商団連会員の皆さまにとって素晴らしい成果をもたらし、さらなる発展と成長の年となりますよう、心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹 賀 新 年

会長 福井 弘
 副会長 星合 邦生 夏目 潔 高桑 幸一
 吉木 学 小正 芳史
 専務理事 伊藤 三郎
 職員一同

全国卸商業団地協同組合連合会
 商 団 連 福 祉 共 済 会

※商団連会員の皆様(順不同)

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------|
| (協) 札幌総合卸センター | 木更津総合卸商業団地 (協) | (協) 米子総合卸センター |
| (協) 帯広卸売センター | 小田原卸商業団地 (協) | (協) 米子中央食品卸売団地 |
| (協) 北見総合卸センター | (協) 横浜マーチャングダイジングセンター | (協) 松江卸センター |
| (協) 旭川流通センター | (協) 川崎卸センター | (協) 益田卸センター |
| (協) 石狩新港卸センター | (協) 新潟卸センター | 浜田卸商業 (協) |
| (協) 青森総合卸センター | 上田卸商業 (協) | (協) 松江流通センター |
| (協) 八戸総合卸センター | (協) 長野アークス | (協) 岡山機工センター |
| 青森卸売業 (協) | 松本流通センター (協) | 岡山県総合流通センター卸 (協) |
| (協) 八戸流通センター | (協) 山梨県流通センター | (協) ベイタウン尾道 |
| (協) 盛岡卸センター | (協) 浜松卸商センター | (協) 福山卸センター |
| (協) 仙台卸商センター | (協) 沼津卸商社センター | (協) 三次総合卸センター |
| (協) 秋田卸センター | (協) 静岡流通センター | (協) 広島総合卸センター |
| (協) 米沢総合卸売センター | (協) 一宮繊維卸センター | 下関問屋センター (協) |
| (協) 山形流通団地 | (協) 高山卸商業センター | (協) 柳井総合卸センター |
| (協) 酒田流通センター | (協) 津卸商業センター | (協) 徳島繊維卸団地 |
| 福島卸商団地 (協) | (協) 富山問屋センター | 徳島木材卸商業団地 (協) |
| 南東北総合卸センター (協) | (協) 高岡問屋センター | (協) 徳島総合流通センター |
| (協) 須賀川卸センター | (協) 金沢問屋センター | (協) 松山卸商センター |
| 会津若松卸商団地 (協) | (協) 福井問屋センター | 高知卸商センター (協) |
| (協) 下館総合卸センター | 大阪金物団地 (協) | (協) 福岡卸センター |
| (協) 土浦総合流通センター | 大阪船場繊維卸商団地 (協) | 佐世保卸団地 (協) |
| (協) 栃木卸センター | 泉州卸商業団地 (協) | (協) 長崎卸センター |
| 宇都宮卸商業団地 (協) | (協) 新大阪センイシティー | (協) 延岡卸商業センター |
| 高崎卸商社街 (協) | 大阪機械卸業団地 (協) | 有田焼卸団地 (協) |
| (協) 前橋問屋センター | (協) 大阪紙文具流通センター | (協) 唐津総合卸センター |
| 所沢卸商業 (協) | 大阪メルカート (協) | 鹿児島総合卸商業団地 (協) |
| (協) 川越バンテアン | 大阪南港鉄鋼流通 (協) | 沖縄県卸商業団地 (協) |
| (協) 熊谷流通センター | 奈良県総合卸商業団地 (協) | (準会員) |
| 埼玉県南卸売団地 (協) | (協) 豊岡卸センター | (協) 水沢総合卸センター |
| (協) 越谷卸センター | 阪神総合卸商業団地 (協) | (協) 横浜総合卸センター |
| 千葉総合卸商業団地 (協) | (協) 神戸船用品センター | 諏訪商業 (協) |
| 船橋総合卸商業団地 (協) | 加古川卸団地 (協) | |
| 茂原卸商業団地 (協) | (協) 鳥取卸センター | |

令和7年 年頭所感

株式会社
商工組合中央金庫

代表取締役社長
関根 正裕



令和7年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要により経済活動が正常化に向かう一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりや為替変動、金利上昇、人手不足等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。また、産業構造の変化に伴うビジネスモデルや商流の変革、業界再編等への適応、カーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

私ども商工中金においては、2023年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、本年6月までに施行が予定されております。改正法では、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになっております。

社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化する中、商工中金法改正の趣旨を踏まえ、企業理念（パーパス）である「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」の実現に向け、中長期的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ策定した中期経営計画に基づき、より踏み込んだサポートに取り組むこととしております。

具体的には、主要戦略として「サービスのシフト」、「差別化分野の確立」、「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客さまに対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化につよい企業経営をお客さまとともに実現してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンス意識の定着化や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進に取り組み、持続可能なビジネスモデルに向けて邁進してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、全国卸商業団地協同組合連合会様並びに会員組合、組合員の皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

年頭に当たって

全国中小企業
団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震、8月の集中豪雨等、自然災害に見舞われる年となりました。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、全国中小企業団体中央会といたしましても自然災害の復旧・復興支援に引き続き全力で取り組んで参ります。

さて、国内経済に目を向けますと、深刻化する人材不足、持続的な賃上げ、労務費等の価格転嫁の遅れ、事業承継問題など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年10月24日に福井県福井市で開催した第76回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者約2千名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議し、その実現に向け精力的に陳情活動を行って参りました。

その結果、大会決議の主な要望事項が、令和6年度補正予算等による「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に盛り込まれたところであり、その早期かつ速やかな実行に向けて、本会においても施策の広報と活用促進に努めております。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化することを踏まえつつ、物価高を上回る賃上げ、デジタル化の推進、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応、事業承継・事業引継、大阪・関西万博などの最重要事項については、連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も、会員の皆様との連携を一層強化し、伴走支援を図って参ります。

結びに、令和7年の乙巳の年は「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様のご成長へのご努力が実を結ぶ年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦

全国卸商業団地トップセミナー（商工中金との共催）を開催



商工中金 関根正裕社長（懇親会）



懇親会の会場の様子

商工中金との共催による令和6年度トップセミナーを令和6年11月18日(月)に東京都千代田区のKKRホテル東京で開催しました。全国45団地から47名が参加し、また商工中金からは関根正裕社長を始め役職員12名が参加し、商団連事務局を含め61名が参加しました。

一人目の講師は法政大学大学院政策創造研究科教授の真壁昭夫氏による「2050年世界経済の未来史～経済、産業、技術、構造の変化～」と題する演題で、将来の世界・日本経済の行方について講演が行われました。

二人目の講師は警察の元警部で詐欺、横領、贈収賄事件等を扱う知能・経済犯担当の刑事を経験された一般社団法人日本刑事技術協会 代表理事の森透匡氏による「元刑事が教える！ビジネスで役立つウソ・人間心理の見抜き方」と題する演題で、ビジネスにおける様々なシチュエーションにおいて人間はどのようなウソをつくかについて講演が行われました。

トップセミナーの講演に引き続き、同ホテルにて懇親会が行われ、関根正裕商工中金社長による開宴のご挨拶の後、福井弘商団連会長の挨拶及び乾杯の発声により懇親会が始まり、商団連の会員組合の皆様と商工中金の役職員の皆様との間で和やかな歓談が行われました。

商工中金の役職員の中には過去に営業担当者として、会員組合を担当していた方もおり、旧交を温められる場面も見受けられました。

トップセミナー翌日に「全国卸団地理事長懇談会」を開催

トップセミナー開催の翌日の令和6年11月19日(火)同一会場(KKRホテル東京)において、会員組合の理事長の皆様を対象とした「全国卸団地理事長懇談会」を開催しました。

本懇談会はブロックを越え、全国の会員同士の意見交換の場を設けてほしいとのご要望にお応えして開催したものです。

前日のトップセミナーに続いての開催にもかかわらず、全国34団地から34名が参加し、組合のトピックスに限らず、地域経済の状況、各業界の状況等について活発な意見交換が行われました。



もっともっと、
できる
商工中金へ。

もっと、お客様のニーズに応えることができる。
もっと、新しいことにチャレンジできる。
それぞれが個性を活かし、未来に向かって。
もっともっと「できる商工中金」へ。



 商工中金

企業の未来を支えていく。
日本を変化につよくなる。



本店 〒104-0028
東京都中央区八重洲2-10-17

商団連ブロック会議を全国7か所で開催

令和6年9月から12月にかけて、全国7ブロックでブロック会議を開催し、全ブロックで65会員組合、延240名が参加しました。

各会議には、中小企業庁、中小機構、商工中金、住友生命及び全国卸商業団地企業年金基金から多くの来賓・オブザーバーが参加し、意見交換の場に加わりました。

会議では、主催者・幹事組合代表者の挨拶の後、各会員組合から、団地の活性化に向けて取り組んでいる事例・今後取り組もうとしている事例の紹介（人手不足対策、人材育成等の共同事業、新たな収益事業、組合の一体性の維持等）についての報告があり、その後意見交換を行いました。

続けて中小企業庁、中小機構、商工中金、住友生命及び全国卸商業団地企業年金基金から施策の説明が行われ、その後商団連本部から商団連グループ保険の加入推進、卸商業団地構造変化等対応支援事業、今後の会議日程等の説明が行われました。



会議の様子（東北）

※各ブロック会議の参加状況

開催日	エリア	幹事団地	参加組合数	出席者数
令和6年9月26日（木）	北海道	（協）帯広卸売センター	5組合	28名
令和6年10月4日（金）	東北	（協）青森総合卸センター	12組合	40名
令和6年10月10日（木）	関東	（協）下館総合卸センター （協）土浦総合流通センター	14組合	41名
令和6年10月15日（火）	中部	（協）高山卸商業センター	6組合	28名
令和6年10月17日（木）	中四国	高知卸商センター（協）	11組合	40名
令和6年11月28日（木）	近畿	大阪機械卸業団地（協）	10組合	29名
令和6年12月5日（木）	九州	（協）長崎卸センター	7組合	34名



会議の様子（北海道）



情報交換会の様子（関東）



会議の様子（中部）



会議の様子（中四国）



会議の様子（近畿）



会議の様子（九州）

組合事務局職員研修会の開催 第1回Web研修 第2回集合研修

組合事務職員研修会が、第1回は12月10日（火）にWeb研修で、第2回は12月13日（金）に東京都千代田区の商工会館で開催されました。

第1回のWeb研修には38組合44名が参加しました。会津若松卸商団地協同組合事務局長の二瓶靖氏から「働き方改革推進支援助成事業の取組」というテーマで、一般財団法人商工総合研究所常務理事の浅黄久隆氏から「共同経済事業実施上のポイント」というテーマで講演が行われました。

第2回の集合研修には23組合25名が参加しました。協同組合金沢問屋センター専務理事の川崎真人氏から「組合事務局の役割と事務局職員の心構えについて」というテーマで、今までの経験を踏まえての講演、静岡県立農林環境専門職大学名誉教授の菊池宏之氏から「卸商業団地組合を取り巻く経営環境の変化と今日求められる役割について」というテーマで講演が行われました。

その後、少人数のグループに分かれ、「組合事務局の役割、組合運営について」というテーマで意見交換を行いました。参加者からは、「他組合の職員と意見交換ができて有意義だった」、「参加者に今後仕事の相談をしていきたい」との話がありました。



第2回集合研修ご参加の皆様

令和6年度第1回事務局長会議を札幌で開催

令和6年9月12日（木）、北海道札幌市のANAクラウンプラザホテル札幌において、令和6年度第1回商団連事務局長会議が開催されました。当日北は北海道、南は沖縄の全国各地から54団地59名が参加しました。

会議冒頭、代表世話人である協同組合ベイトウン尾道の蔦永英明専務理事の挨拶が行われ、続いて商団連理事で幹事団地の協同組合札幌総合卸センターの守和彦理事長から歓迎挨拶が行われました。その後全員協議会が開かれ、令和5年度事業報告及び収支決算報告が行われ、審議の結果原案通り承認されました。

続いて行われた会議では、まず今回の幹事団地である協同組合札幌総合卸センターの団地概要について多田幸治専務理事から説明が行われた後、商団連の主たる事業である共済事業（グループ保険）の加入状況及び推進についての説明、中小企業庁、中小機構、商工中金、全国卸商業団地企業年金基金の各関係機関から施策の説明及び商団連事務局から各事業の説明・報告が行われました。

昼食をはさみ午後から、会議参加者を団地の規模により、3分科会に分け、団地の現状の課題、有効事例の取組等について皆さんから発表していただくとともに意見交換を行いました。

会議終了後、協同組合札幌総合卸センターの団地見学を行い、その後、ANAクラウンプラザホテル札幌に戻り、来賓として、北海道中小企業団体中央会の松浦豊専務理事、商工中金札幌支店の隅田耕支店長、幹事団地の協同組合札幌総合卸センターの守和彦理事長、本阿弥孝副理事長をお招きし、賑やかに情報交換会が行われました。



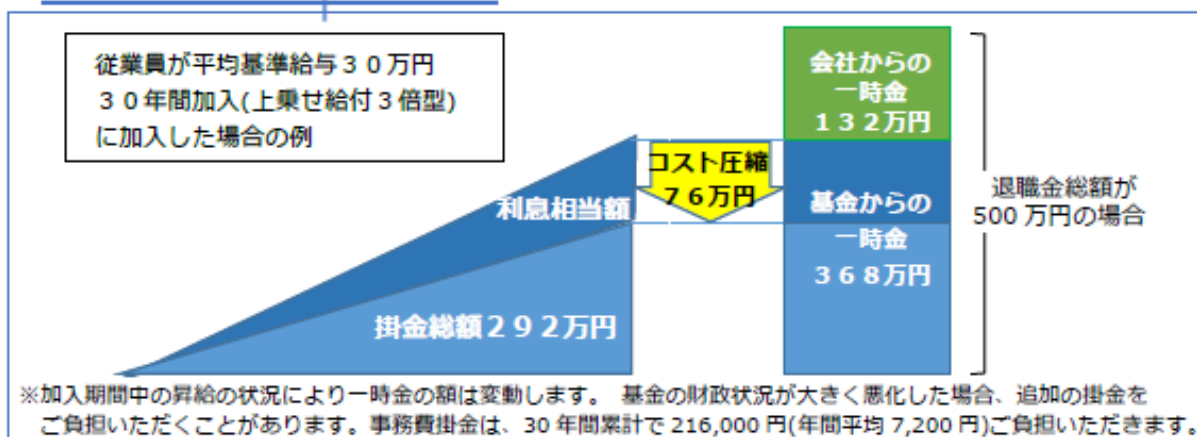
退職金の積み立てに **全国卸商業団地企業年金基金** を活用してみませんか

全国卸商業団地企業年金基金は、全国の卸商業団地で働くみなさまの退職後の所得の充実を図る目的で設立された確定給付企業年金制度です。現在、約**655事業所**、**14,800人**のみなさまにご加入いただいています。

確定給付企業年金のメリット

- ▷ 掛金は**損金算入**できます。
- ▷ 積立金は**年利1.5%(複利)**で積み立てられます。
- ▷ 平準的に積み立てることで**資金繰りが安定**します。
- ▷ 従業員が給付を受ける際には、**退職所得控除**もしくは**公的年金等控除**が受けられます。
- ▷ 退職金積立のコスト負担が**軽減**できます。

当基金では、加入者毎に仮定の個人勘定を設け、掛金に**1.5%(複利)**の利息を付与しています。退職金規程で、規定する退職金総額に、当基金から受け取る年金や一時金を含む旨を定めれば、**利息相当額分の退職給付コストを圧縮**することができます。



新規加入を随時受け付けています 【新規加入年度の翌々年度まで事務費掛金が半額です】

詳しくは「**全国卸商業団地企業年金基金**」まで ☎03-3560-7017

(中小機構) オーダーメイド研修及びサテライト・ゼミのお知らせ

中小機構では中小企業大学の研修ノウハウを活かした「オーダーメイド研修」及び「サテライト・ゼミ」を開催しています。是非ご活用を検討ください。

1 中小企業大学の概要

全国9か所の地域本部、全国9か所の中小企業大学校とweb校（WEBee Campus）において、中小企業者及び中小企業支援担当者に対する研修事業を実施し、昭和37年の事業開始以来、62年間で延べ75万人が受講しています。

2 オーダーメイド研修とは

中小企業大学校では、個々の中小企業の人材育成ニーズに応じた研修をオーダーメイドで実施しています。事業協同組合が組合員向けに行う教育・情報提供事業としてのご利用や、組合員企業単独でのご利用も可能です。

2-1 オーダーメイド研修の主な特徴

- ・人材育成方針や人材育成課題に応じて、研修企画を立案・提案します。
- ・研修テーマ、研修時間、日程、会場、研修形態はアレンジ自在です。
- ・リアル研修、オンライン研修いずれも対応可能です。
- ・座学だけでなく、演習などを組み合わせた実践的なカリキュラムとなります。
- ・研修実施にあたっては実施機関と役割分担をいたします。
- ・経費は受講者数に関わらず、研修時間や講師、カリキュラムによって変動します。

2-2 オーダーメイド研修の流れ

研修の開催にあたっては、以下のようなスケジュールになります。

ご相談・ご提案（6ヶ月以上前）→お申込み（6ヶ月前）→研修内容・会場等の決定（5ヶ月前）→受講者募集（2、3ヶ月前）→受講者確定（1ヶ月前）→研修実施（実施後に会計手続き等）

※スケジュールは目安です。お気軽にお問い合わせください。

3 サテライト・ゼミとは

サテライト・ゼミは、中小企業大学校が全国各地の支援機関等（事業協同組合を含む）と連携することにより、人気の研修を各機関の所在地で実施する研修形態です。

3-1 サテライト・ゼミの主な特徴

- ・毎年多くの中小企業に利用されている人気研修を、各機関の所在する街の会場で実施することができます。
- ・企業経営に必要な経営の分析手法やマネジメント手法を体系的に習得することができる研修を提供します。
- ・少人数の演習やグループ討議を通じて、受講者自身が主体的に考えながら進める「参加型」のコースです。ゼミナールでは専門家の助言も受けながら、経営課題解決へとつなげていきます。

【運営方法】

各地域で連携していただける機関を募集し、応募された機関には研修の会場手配、参加者募集および当日の運営補助を行っていただきます。研修のテーマや日程・時間数は連携機関と意見交換等を行いながら決定します。

【準備期間と費用】

期間：お申し込みから開催までの準備期間は約5ヶ月 費用：連携機関は無料（受講者には、受講料が発生）

3-2 サテライト・ゼミ 研修テーマ例

各地域の中小企業の人材育成ニーズに応じた様々な研修の提供が可能です。以下は例となっています。

分野	研修テーマ例
組織マネジメント 人事・組織	チームマネジメント講座／コミュニケーション活性化講座／コーチングの取り組み方／問題発見・解決力／リーダーのための業務改善／ロジカルシンキング／人材育成の仕組みづくり／部下指導の考え方 など
企業経営・経営戦略 財務管理	経営戦略・事業戦略策定講座／IT 活用の進め方／SDGs で考えるこれからの企業経営／競争の無い市場の見つけ方／新たな成長テーマの見つけ方・創り方／決算書の見方／損益分岐点の活用法 など
営業 マーケティング	WEB サイトの活用方法／提案営業の考え方／強い営業チームのつくり方／インサイドセールス実践講座／新規顧客開拓の進め方／物語マーケティングの実践法 など
階層別	新任管理者研修／職場リーダー養成研修／女性リーダー養成研修／中堅管理者研修／次世代トッパーリーダー養成講座 など

<問い合わせ先> 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

人材支援部 人材支援業務課 オーダーメイド研修／サテライト・ゼミ担当

TEL：03-5470-1642 にお問い合わせください。



組合施設整備資金の取扱い開始について

～商工中金と中小機構の連携～



団地組合の皆さまにおかれましては、団地発足30～50年余年が経過し、施設の老朽化に伴う再整備ニーズが高まっているものと存じます。そうした課題を解決するため、診断と融資が一体となった「高度化事業※」は有効な解決策です。

※高度化事業の概要

中小企業者が、共同・連携して行う、課題解決のための設備投資を中小機構と都道府県が一体となって診断・助言（経営支援）及び資金融資の両面からサポートする事業です。経営支援は、貸付後も随時受けられます。最長20年の長期・固定・低金利（令和6年度貸付決定分0.80%）の融資が受けられるほか、税制上や都市計画法上のメリットを受けられることも特徴です。

○リニューアル事業

以下の資金が対象となります。

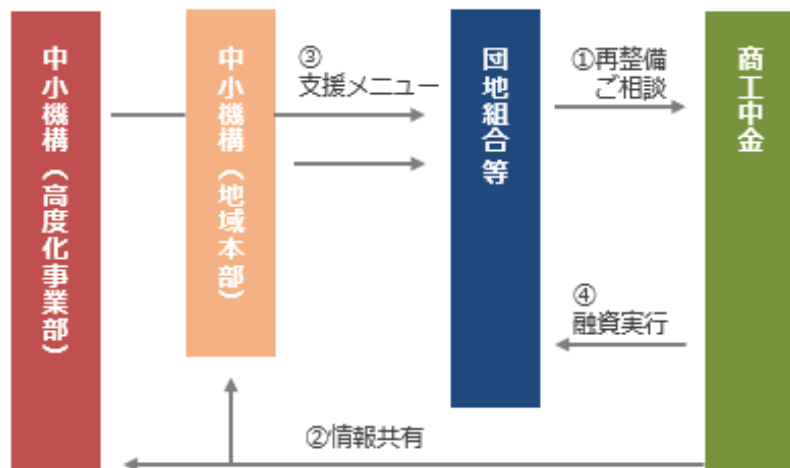
- ①組合による共同施設の新設・更新
 - ②新規組合員の団地外からの移転に伴う空き区画への施設整備
 - ③既存組合員による施設の建替えや空き区画取得等による施設の増改築
- 要件を満たしていれば1者から事業実施が可能です。

一方で、都道府県毎に「高度化事業」の実施状況が異なり、必ずしも利用に至らないケースもあると存じます。そのような皆さまの悩みを解決するため、**今回商工中金にて「組合施設整備資金」の取扱いを開始します。中小機構の支援メニューを活用しながら、「高度化事業」の利点である超長期・固定金利融資を実現いたします。**中小機構と商工中金は団地組合の皆さまの悩みに力強くサポートして参ります。

【中小機構支援メニュー例】

経営アドバイス、ハンズオン支援、事業継続力強化支援、IT経営サポート、海外展開支援 等

【本スキーム図】



※商工中金へのご相談へ先立ち、まずは「高度化事業」の利用を都道府県にご相談し、ご検討ください。
何らかの事情で「高度化事業」の利用に至らないケースが生じた場合、本制度（組合設備整備資金）の利用を検討できます。

※組合による共同施設の新設・更新の他、新規組合員の団地外からの移転に伴う空き区画への施設整備、既存組合員による施設の建替えや空き区画取得等による施設の増改築の対応が可能です。

【取組みイメージ】

対象先	再整備等につき中小機構支援メニューの紹介を受け、事業計画へ商工中金が関与を行う協同組合等
融資金額	設備投資金額の80%を目安とします
融資金利	所定の利率(最終期限まで固定金利)
融資期間	期間20年以内(据置3年以内)
担保/保証	原則融資対象物件に一順位担保設定/無保証

※取組にあたって商工中金の審査が必要となります。審査の結果によっては、対応出来ない場合、金額の減額や諸条件の見直し等ご希望に沿えない場合があります。

本件は情報提供を目的としており、何らかの行動の勧誘を目的としたものではありません。ご利用に関しては全てお客様ご自身でご判断くださいますよう宜しくお願い申し上げます。文中の情報は、商工中金が信頼に足り、かつ正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、商工中金はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前連絡なしに変更されることもあります。

ご相談は最寄りの商工中金の営業店宛てにお問い合わせください。

北から南から

～会員組合の皆様の情報をお届けします～

祝 創立50周年記念式典・祝賀会開催(協同組合福山卸センター)

協同組合福山卸センターの組合創立50周年記念式典・祝賀会が令和6年10月25日(金)、福山市の「ステーク 懐石都 春日」にて盛大に開催されました。

記念式典では、卜部文男理事長から、「バブル崩壊、東日本大震災、新型コロナ流行など様々な困難を経て50周年を迎えることができた。これからも備後地区の中核として活力のある組合を目指していく」との式辞がありました。その後、中国経済産業局の實國慎一局長をはじめとする来賓からの祝辞がありました。

○表彰を受賞された皆様

(敬称略、順不同)

中小企業庁長官表彰	卜部 文男 (理事長)	商団連会長表彰	荒井 照三 (理事)
中小機構理事長表彰	高橋 治彦 (副理事長)		浦上 和明 (理事)
	森島 俊治 (常務理事)		坂谷 裕 (監事)
	田中 高治 (常務理事)		木曾 博孝 (監事)
			柴崎 博道 (次長)



式辞 (卜部理事長)



長官表彰(實国中国経産局長)



記念式典会場

「問屋町フェスタ」開催2024(協同組合松山卸商センター)

令和6年11月3日(日)協同組合松山卸商センターにおいて、「問屋町フェスタ2024」が開催しました。前日は豪雨に見舞われ、当日開催が危ぶまれましたが、幸いにも天気は回復し秋晴れ快晴の中、事故もなく盛大なフェスタを開催することができました。

地元中学校吹奏楽部の演奏でソプラノ歌手の国家斉唱に始まり、お笑い芸人ライブ、愛媛プロレスリングパフォーマンス、地元のミュージシャン2組のライブ、お菓子まき、餅まきを行い大いに盛り上がりました。

会場にはキッチンカー15台、22社の企業が出店し、近隣の住民の皆様を中心に5年前の開催を大きく上回る1万人以上の来場者をお迎えしました。

大変好評で来場者からは「楽しかったよ! 来年もやってね!」との大変好意的なご意見をいただきました。

今後も団地の活性化に向けて様々なイベント開催を企画して参りたいと考えております。



第38回オロシティー夏まつりを開催（鹿児島総合卸商業団地協同組合①）

鹿児島総合卸商業団地協同組合（愛称：オロシティー）では、令和6年8月3日（土）恒例の「オロシティー夏まつり大会」を開催しました。

今年は合計67テントが出店、ホール周辺の道路を歩行者天国とし、組合員の物品販売ゾーンには多くの買い物客が押し寄せました。ステージは屋外ステージと室内ステージがあり、どちらも特色あるイベントが行われました。

オープニングセレモニーでは、組合歌の斉唱やオロシティー夢音頭の歌唱をバックに、踊り手がステージ前の観客席を囲んで円を描きながら踊り、お祭りのスタートを盛り上げました。

この夏まつりは「地域に密着した卸団地づくり」をコンセプトに、地域の活性化や地域貢献を目的としたイベントです。今年は昨年を超える2万人超の来場者がありましたが、実行委員会をはじめ参加者全員の尽力により大きなトラブルもなく大盛況で終了することができました。

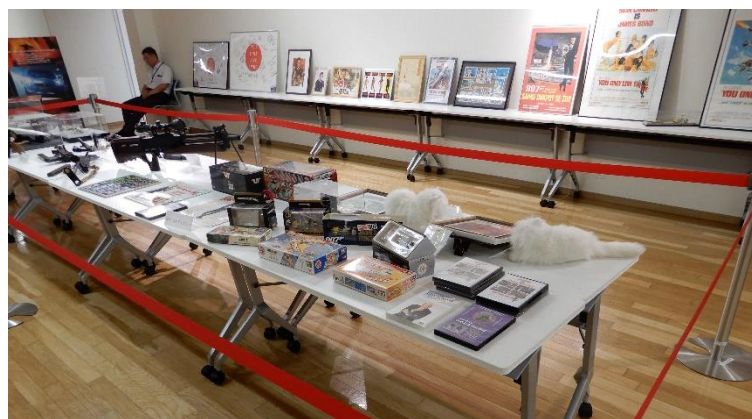


「映画007は二度死ぬ鹿児島ロケ地の魅力を世界に発信」イベントを開催（鹿児島総合卸商業団地協同組合②）

鹿児島総合卸商業団地協同組合（愛称：オロシティー）では、今年度マルチテラスという会場の利用促進を目的に、令和6年9月14日（土）イベントを開催しました。鹿児島がロケ地となった007映画を題材に、007シリーズの研究者である村井慎一氏を東京からお招きし、玉利佳久副理事長とのトークショーを開催しました。

並行して、100点余りのグッズ（ショーン・コネリーの直筆サイン等）を集めたパネル展、ホール中庭では大変貴重なボンドカーも三台を展示（脇田商会の脇田氏の提供）。当日は日本各地から007ファンが集結するなど、120名を超える来場者があり、会場は大いに盛り上がりました。

イベント後は、地元マスコミでも数多く取り上げられ、オロシティーホールの有効活用を内外にアピールできた貴重なイベントとなりました。



商団連事務局からのお願い 「機関紙 商団連」に記事を書かせませんか？

商団連では、「機関紙 商団連」の次号（令和7年夏号）以降も、会員組合の皆様の記事を掲載していく予定です。団地内トピックス（例えば、周年行事開催、組合会館落成、地元新聞での団地組合紹介、特徴のある共同事業、地域貢献の取組等）がありましたら商団連事務局までお知らせください。

商団連会員ネットワークを活用した販路開拓事業のお知らせ

※次回以降も引き続き掲載を募集しております。

芋屋金次郎株式会社 (高知卸商センター 協同組合)

母体となる澁谷食品株式会社は昭和27年の創業以来、おいしい芋けんぴと、その素材である「さつま芋」づくりにこだわり続けてまいりました。現在、さつま芋の年間使用量は1万トン。全国のスーパーマーケットやコンビニなどで販売されている芋けんぴの約50%を占め、日本一の圧倒的な生産量を誇っています。

芋舗「芋屋金次郎」は、ワンランク上のフレッシュな芋けんぴをお届けする専門店として平成17年に誕生しました。

高知を本店に、愛媛県・香川県・福岡県・大阪府・東京都合わせて8つの直営店では当日揚げたての芋けんぴをはじめ、自慢の芋けんぴ各種、スイートポテトやお芋のモンブランなどの店舗でしか味わえないオリジナルの芋菓子を多数取り揃えております。

※店舗によって取扱商品が一部異なります。

商品のご紹介

贈答用

「缶入り特撰芋けんぴ 750g」



↑↑
缶入特撰芋けんぴ
ご購入はこちら

芋けんぴの原材料である「さつま芋・油・砂糖」すべてにこだわり、創業以来変わらぬ製法で揚げている特撰芋けんぴ。添加物不使用・アレルギーフリーで子供から大人まで多くの方にお楽しみいただけます。大容量なので贈り物にも最適です。

※その他にも多数の商品をご用意しております。



芋屋金次郎卸団地店



おつかいもの各種



薄切り芋けんぴ/つぶけんぴ

【お問い合わせ先】 芋屋金次郎株式会社

住所：〒781-2153
高知県高岡郡日高村本郷573-1
電話：0120-03-7421
(受付時間 9:00~17:30)
FAX：0120-19-0428

↓↓弊社オンラインショップからもご購入いただけます↓↓

芋舗 芋屋金次郎



経営者ならではの悩みを、 相談できる場所があります。

創業

販路拡大

生産性向上

SDGs

人材育成

事業継続(BCP)

事業承継

ご相談は、お近くの中小機構の窓口へ。

中小機構



中小機構 お問い合わせ先一覧 本部 TEL.03-3435-8811 北海道本部 TEL.011-210-7470 東北本部 TEL.022-399-6111
 関東本部 TEL.03-5470-1509 中部本部 TEL.052-201-3003 北陸本部 TEL.076-223-6761 近畿本部 TEL.06-6264-8511
 中国本部 TEL.082-502-4300 四国本部 TEL.087-811-3130 九州本部 TEL.092-263-1500 沖縄事務局 TEL.098-354-7566



会員組合の役職員の皆様 傘下組合員の経営者・従業員の皆様へ ※提携先

あなたの未来を強くする



商団連福祉共済会からのお知らせ

商団連福祉共済会は、商団連に所属する会員組合の組合員及びその従業員並びに事務局役員を対象に「商団連グループ保険」及び「3大疾病グループ保険」の運営を住友生命保険相互会社と提携し行っています。昭和46年（1971年）の制度発足以来、半世紀以上にわたり、多くの皆様にご愛顧いただいています。

令和7年4月から3大疾病グループ保険（会社掛）も新たにスタートします。

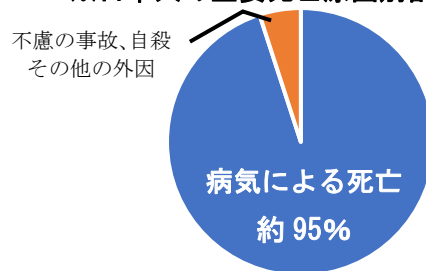
商団連グループ保険がお役に立っています!!

商団連で実施している商団連グループ保険は生命保険です。災害保障特約が付いたシンプルな保障ですが、病気死亡、災害死亡のどちらでも支払い対象となり、もちろん24時間保障ですので**弔慰金の財源手当てにはピッタリの制度**です。

全国規模のスケールメリットで、お手頃な掛金を実現しております。さらに、**商団連独自の見舞金制度を設けており**、多くのご加入者にご利用頂いております。是非一度お見積りをお申しつけください。

※ご加入にあたっては、必ずパンフレットをご確認ください。

※日本人の主要死亡原因別割合



出典：厚生労働省「2021年人口動態統計月報年計（概数）の概況」より住友生命にて加工作成

令和5年度お支払い実績

※令和5年度商団連グループ保険の保険金・給付金の支払実績は**1,829万円**

- （内訳）①支払保険金（死亡+災害）4件 1,800万円
- ②支払い入院給付金（事故・災害による入院）9件 29万円

※令和5年度の見舞金・祝金の支払実績（商団連独自制度）合計**88件**

通院見舞金21件 入院見舞金14件 結婚祝金18件 出産祝金29件 長寿祝金6件

※商団連から

福利厚生制度の充実は人材確保や定着の有効な手段とされています。是非ご検討ください。

※ 重要なお知らせ （告知内容の変更） 商団連グループ保険

商団連グループ保険（会社掛）につきまして、加入・増額時の告知内容が変更され、加入条件が大幅に緩和されています。☞ 今まで加入・増額できなかった方も再度ご検討ください。

【変更内容】個別の病気の該当確認は不要になり、病気や外傷で、現在もしくは過去に一定期間、欠勤の有無について告知する方法となりました。

住友生命からのお知らせ～健康課題解決のお手伝いを通して活力ある職場作りを応援します～

住友生命では「ウェルビーイング」をキーワードに経営課題解決に向けたソリューションをご提供しております。

健康経営ポート	「健康経営コンサルティング」	健康経営優良法人認定に向けた情報提供およびサポート
各種セミナー	「健康増進セミナー」	従業員の健康増進への行動変容を促します。
	「新入職員マナーセミナー」	新入職員等を対象に社会人としてのマナーを学びます。
	「ライフプランセミナー」	生活設計・資産形成の意欲喚起となります。
	「セカンドライフセミナー」	定年退職後準備への意識付け
福利厚生制度	「商団連グループ保険」	割安な経費で死亡退職金・弔慰金制度を実施できます。
	「商団連3大疾病グループ保険」	3大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）に罹患し、所定の条件に該当した場合に保険金をお支払いします。
	「全国卸商業団地企業年金基金」（退職金制度）	お手頃な掛金から退職金制度を始められます。商団連会員組合の組合員企業のための制度です。
	「Vitality 福利厚生タイプ」	Vitality 健康プログラムを活用して、従業員の健康増進・運動習慣の改善に関する「自発的な取組」をサポートするサービス（スマホアプリ）です。また、経営者のリスクもサポートします。

繁栄ドクターGO（医療保険）	日帰りから長期の入院、1000種類以上の手術を幅広く保証します。
繁栄エンブレム新長期プラン	98歳までの長期間にわたり死亡時の大型保障をご準備いただけます。また、解約返戻金を企業のニーズにあわせて、事業保障資金、退職慰労金等にご活用いただけます。
ビジネスキーパー（事業活動総合保険）	自然災害や感染症等さまざまなリスクをまとめて補償する火災保険
ビジネスプロテクター（企業総合賠償責任保険）	業種固有のリスクに幅広く対応する賠償責任保険

住友生命からのご案内

住友生命では商団連様ご加入の組合員様の福利厚生制度向上のために、さまざまな提案をさせていただいております。

R7年4月から 商団連3大疾病グループ保険（会社掛）がスタートします！

仕事と治療の両立支援を強力にサポートします。商団連グループ保険とあわせてご加入をご検討ください

<商団連団体保険のラインナップ>

主たる保障内容	掛金の負担		備考
	企業（経営者）	従業員個人	
死亡保障	商団連グループ保険（会社掛）	商団連グループ保険（個人掛～ファミリープラン～）	災害保障特約付き 商団連独自給付有り
3大疾病 （がん、急性心筋梗塞、脳卒中）	商団連3大疾病グループ保険（会社掛） ～NEW～	商団連3大疾病グループ保険（個人掛）	死亡保障無し

※詳細は、商団連団体保険の各パンフレットをご覧ください。

商団連3大疾病グループ保険<会社掛>のご案内

がん(悪性新生物)・急性心筋梗塞・脳卒中 により約款所定の条件に該当した時、保険金を一時金としてお支払い（死亡保障や高度障害の保障はありません）

- 1、掛金は会社掛け（損金または必要経費に算入できます） 保険金は加入者受け取り（非課税）
- 2、死亡保障のないシンプルな保障とスケールメリットによるお手頃な掛金
- 3、医師の診査は不要（告知項目に該当が無ければお申込みいただけます）
- 4、早期発見や治療支援、復職支援の付帯サービスもご利用いただけます
（例：がんセカンドオピニオンサービス、重症化予防支援サービス「Mystar」）

治療と仕事の両立支援を強力にサポートします

<ご加入例>

従業員合計21名で試算

合計月額概算掛金：16,915円

スケールメリットを活かした手頃な掛金でご準備いただけます



社長様



52歳男性
×5名



43歳男性
×5名



38歳男性
×5名



27歳女性
×5名

事業主 63歳 男性
主契約保険金額：500万円
月額概算掛金：8,215円

従業員① 52歳 男性
主契約保険金額：100万円
月額概算掛金：756円
756円×5名=3,780円

従業員② 43歳 男性
主契約保険金額：100万円
379円×5名=1,895円

従業員③ 38歳 男性
主契約保険金額：100万円
月額掛金：349円
349円×5名=1,745円

従業員④ 27歳 女性
主契約保険金額：100万円
月額掛金：256円
256円×5名=1,280円

商団連団体保険（グループ保険、3大疾病グループ保険）の掛金

商団連グループ保険掛金（保険金額100万円の場合）

保険金額	性別	保険年齢							
		15歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳～50歳	51歳～5歳	56歳～60歳	61歳～65歳	66歳～70歳
100万円	男性	276円	300円	338円	402円	499円	635円	871円	1200円
	女性	239円	276円	296円	343円	399円	457円	546円	672円
100万円	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	75歳まで新規加入可能			
	男性	1511円	1652円	1814円	2003円	2227円			
	女性	831円	905円	991円	1087円	1190円			

商団連3大疾病グループ保険掛金（保険金額100万円の場合）

保険金額	性別	保険年齢							
		15歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳～50歳	51歳～55歳	56歳～60歳	61歳～65歳	66歳～70歳
100万円	男性	239円	349円	379円	536円	756円	1,129円	1,643円	2,326円
	女性	256円	441円	531円	603円	722円	841円	1,072円	1,453円
100万円	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	75歳まで新規加入可能			
	男性	2835円	3023円	3221円	3428円	3646円			
	女性	1718円	1813円	1913円	2017円	2125円			

■記載の年齢は、保険年齢を使用しています。保険年齢は、契約日*（2024年4月1日）現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数については切り上げて、6ヶ月以下のものは切り捨てます。（*グループ保険は更新日に読み替えてください。）

■ご加入にあたっては必ずパンフレットをご確認願います。

商団連会員サポートセンターの活用のお願い**会員組合に限らず、所属組合員の皆様、役員の皆様も是非、活用をご検討ください。**

商団連では会員組合の皆様が抱える様々な課題の解決や活性化を支援するために、関係各機関（中小企業庁、中小機構、商工中金、全国中小企業団体中央会及び顧問弁護士）と連携して、「商団連会員サポートセンター」を設置しています。

また、商団連では「建築ニーズ」等に対応するために準大手ゼネコン「高松建設株式会社」及び不動産鑑定会社の「株式会社コスモシステム」と提携しています。会員組合に限らず、所属組合員の皆様、役員の皆様も是非、活用をご検討ください。

お問い合わせは商団連会員サポートセンター宛にご連絡ください。お待ちしております。

高松建設株式会社（ゼネコン）のご紹介**※対象エリアは首都圏、近畿圏、中京圏、札幌、仙台、福岡**

商団連はゼネコン準大手の「株式会社高松コンストラクション(中核 高松建設株式会社)～東証プライム市場上場」と業務提携をしています。

卸団地制度が創設され60年が経過しました。長い年月の経過により、団地の施設は老朽化、耐震、アスベスト対応など様々な問題が生じております。

皆様からのご相談・ご紹介をお待ちしております。

※高松建設株式会社 概要 ※売上高はグループ合計

(大阪本店) 大阪府大阪市淀川区新北野1-2-3

(東京本店) 東京都港区芝4-8-2

会社設立1980年11月 売上高3,126億円

HP (高松建設) <https://www.takamatsu-const.co.jp>

(グループ) <https://www.takamatsu-cg.co.jp>

**TCG 高松コンストラクショングループ****例えば**

お見積りを取りたい

話を聞きたい

耐震工事を検討している

遊休地を活用したい 等

☞ 商団連にご相談ください

株式会社コスモシステム（不動産鑑定会社）のご紹介**※対象エリアは全国一円**

商団連は不動産鑑定会社の「株式会社コスモシステム」と業務提携をしています。当社は全国に9拠点を有する全国規模の鑑定事業者で、政府系・メガバンクをはじめとする金融機関の担保評価を多く手掛けている企業です。

※不動産鑑定評価書の活用方法（案） 不動産鑑定評価書はこのような場面でお使いいただけます。**○M&Aや事業承継**

ex) M&Aや事業承継の際に「第三者の意見が必要」と指導を受けました。

→保有する不動産の時価を把握する必要があります。その時価を算定する際に不動産鑑定評価が必要となります。

○親族間や同族間での売買や交換

ex) 同族の個人間、関係会社間での不動産取引を行ないたいが、注意すべき点は？

→同族間などの不動産取引では、取引価格に恣意性があると見られやすい為、鑑定評価に基づく適正な価格での取引であることを証明できます。

○固定資産の減損会計処理

ex) 契約更改時の交渉材料として活用する。

→契約の更改に伴い賃貸料の妥当性を検証する。今現在の賃貸料の相場や事例を求め、賃料更改時の交渉材料としてお使いいただけます。

※株式会社コスモシステム 概要

(大阪本社) 大阪府中央区高麗橋2-6-10新高麗橋ビル5階

(東京本社) 東京都千代田区九段北4-1-3日本ビルディング九段別館10階

HP <https://cosmoap.co.jp>

不動産鑑定評価を検討している
会員組合、組合員の皆様

☞ 商団連にご相談ください

不動産鑑定・調査**COSMOSYSTEM****信頼と実績**2024年度実績 **4** 万件

全国9拠点のネットワーク

札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 京都 広島 福岡 松山

お問合せ 東京本社 03-6261-2361 (代) 担当 榎本

令和7年度「卸商業団地構造変化等対応支援事業」公募日程のお知らせ

卸商業団地構造変化等対応支援事業につきまして、令和7年度も公募を実施します。

本事業は中小卸売業及び卸商業団地の活性化を図るため、①重点事業（防災・減災機能の向上、GX・DXへの対応）、②拠点機能強化事業（組合施設等の老朽化対策、建て替え及び新規立地への移転、その他共同事業の機能強化見直し・再構築への対応等）を実施する際の調査研究や事業化計画の策定等に対して支援することを目的としています。ただし、設備費用やイベント等の開催費用は対象外となります。

1 令和7年度の公募日程（以下のとおり、一次及び二次と2回の公募を行います。）

一次公募	令和7年3月3日(月)～3月31日(月)	なお、令和8年度以降についても一次公募（3月）及び二次公募（9月）を行う予定です。
二次公募	令和7年9月1日(月)～9月30日(火)	

2 助成限度額 1,500万円（下限100万円）←令和6年度と変更ありません

3 助成割合

①重点事業（単独）又は①重点事業+②拠点機能強化事業	助成対象経費の4/5以内
②拠点機能強化事業	助成対象経費の2/3以内

4 ご確認

本事業の実施期間は令和6年度から最長5年間となりますが、取崩型基金のため、基金残高がなくなり次第公募終了となります。

お問い合わせは商団連事務局宛にお願いします。

令和7年 商団連スケジュール

ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

日付	内 容	会場
令和7年1月16日(木)	新年賀詞交歓会及び新春セミナー 第2回役員会	ホテル雅叙園東京
令和7年1月17日(金)	第2回事務局長会世話人会	商団連会議室
令和7年3月13日(木)	第2回福祉共済会幹事会	商団連会議室
令和7年3月14日(金)	第2回事務局長会議	全国町村会館
令和7年6月24日(火)	第58回通常総会	ホテルニューオータニ
令和7年9月11日(木) ～9月12日(金)	第1回事務局長会議	幹事団地 協同組合長崎卸センター

巳年はこんな年(豆知識)

2025年の干支は

「乙巳(きのと・み)」年

です

令和7年は巳年ですが、本来の干支でいうと乙巳(きのと・み)。巳年であること以外にも込められた意味があります。十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。乙(きのと)は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされており



そのため乙巳(きのと・み)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。

○巳年の過去の出来事

年度	主な出来事
1953年(昭和28年)	NHKがテレビの本放送開始、朝鮮戦争の休戦が成立、英女王エリザベス2世戴冠式
1965年(昭和40年)	日韓基本条約を韓国と調印、中国文化大革命はじまる
1977年(昭和52年)	横田めぐみさん拉致事件発生、日本初の気象衛星「ひまわり」打ち上げ
1989年(平成元年)	ベルリンの壁が崩壊、中国で天安門事件が起こる、消費税法が施行
2001年(平成13年)	アメリカで同時多発テロが発生、中央省庁再編、国内で狂牛病の疑いのある牛が発見
2013年(平成25年)	アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高推移

過去の巳年は、良きにつけ悪しきにつけ時代の転換点である出来事が多いようです。

編集後記

「新人類～バブル世代」の私の今年の目標は、日進月歩の情報化社会に取り残されないよう ChatGPT に代表される IT ツールに今まで以上に興味を持ち、且つ活用できるようにすること。どんどん進んでいく IT 技術に焦りはありますが、気持ちだけは「Z世代」に負けないつもりで頑張りたいと思います。(原田)